

## JDDネット大阪 大阪発達障害啓発週間2011企画

### 「星の国から孫ふたり」映画上映会 報告

日時：2011年4月3日（日） 1回目上映 13:15～（13:05受付開始）

2回目上映 15:10～（15:00受付開始）

会場：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）5F視聴覚スタジオ

参加者：59名

内訳 1回目：事前受付： 会員 大人 11名 高校生以下 4名

一般 大人 19名 高校生以下 1名

：当日受付： 一般 大人 3名

2回目：事前受付： 会員 大人 8名 一般 大人 7名 高校生以下2名

：当日受付： 一般 大人 4名

JDDネット大阪：大阪府臨床心理士会・大阪府作業療法士会・日本感覚統合学会・日本LD学会・特別支援教育士認定協会大阪支部会・大阪自閉症協会・大阪LD親の会「おたふく会」・大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」・アルクラブ  
オブザーバー：大阪府発達障害者支援センター・大阪市発達障害者支援センター・堺市発達障害者支援センター

JDDネット大阪では、2011年発達障害啓発週間の企画として、「夢の国から孫ふたり」の上映会を開催しました。当日は、大阪府作業療法士会、日本感覚統合学会、大阪自閉症協会、大阪LD親の会「おたふく会」、大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」からの合計10名のスタッフにより、2回の映画上映をおこない、59名の方が参加してくださいました。

会場内には「JDDNET 災害支援基金」の募金箱を設置し、東北地方太平洋沖地震の被災地で生活する、もしくは避難している発達障害のある子どもや大人たち、あるいは同様の支援ニーズのある方々への支援を訴えました。集まった2万円を、4月4日付けで「JDDNET 災害支援基金」へ振り込むことができ、今回の映画上映会が、発達障害に対する啓発だけでなく、被災された方々の一助にもなり、参加者および関係者の皆様へ感謝申し上げます。





## 参加者の感想

発達障害啓発週間の4月3日、大阪で「星の国から孫ふたり」～「自閉症」児の贈りもの～の映画の上映が行われた。

日本に住む祖母のもとに娘の家族がアメリカから帰国、帰国後日本で孫のかおるに自閉症の傾向があると診断される。そして帰国後に生まれた二人目の子どもにも発達障害があることが分かる。

アメリカにいれば発達障害児には手厚い支援があることを知るが、現在の日本では同じような支援は望めない。娘夫婦はどうしようもない子育てに悩む日々だか、息子かおるの宇宙語「デュワイン」といながら接する、楽天的な祖母にだんだん救われていく様子がとても良かった。

私が印象に残った場面は、親の会の母親たちが「きれい好きの息子」や「生真面目な息子」の自閉症の特性の良いところを自慢話にするところ。また、かおるが小学生になって母親を亡くしたマリアという転校生の女の子を気遣う場面。自閉症の人にも感情はありますから。

95分の映像の中に自閉症の子どもを取り巻く人々の関わり方、親は丁寧にゆっくり子育てしていくことの大切さ、また行政などを動かすのも親の力があることなど多くのことが込められていて、発達障害に関わる親たちにエールを送ってくれた映画だった。

今回企画していただいた「JDDネット大阪」の皆さまに感謝いたします。  
ありがとうございました。

(親の会保護者)

## アンケート集計 (参加数59名 アンケート回収46枚)

- 1、所属 (複数回答あり) ・当事者、及びその家族 29人 ・教育関係 9人 ・福祉関係 5人  
・その他 5人 (教室1人・OTを目指す学生1人・無回答3人)
- 2、性別 ・男 10人 ・女 38人
- 3、年代 ・0～10代 8人 ・20～30代 8人 ・40～50代 30人 ・60～70代 2人

	0～10代		20～30代		40～50代		60～70代		計		総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
当事者	4	3	1	3	2	15	1	0	8	21	29
教育関係	0	0	0	2	0	7	0	0	0	9	9
福祉関係	0	0	0	1	1	2	1	0	2	3	5
その他	0	1	0	1	0	3	0	0	0	5	5
計	4	4	1	7	3	27	2	0	10	38	48
総計	8		8		30		2		48		

※2名が複数回答していたため、総計とアンケート数に差あり

#### 4、上映会参加のきっかけ

- ・所属会からの情報 20人
- ・知り合いから 14人
- ・ネットからの情報 8人
- ・新聞 2人
- ・無回答 2人

#### 5、感想

- ・大変良かった！ 25人
- ・良かった 18人
- ・ふつう 3人

#### <当事者、及びその家族>

- ・当事者の立場で、自然な日常を表現していたので、発達障害や自閉症のことが、とても良く伝わりました。
- ・心にしみる、そして、とてもわかりやすい、いい映画でした。啓発にも、そして自分自身の整理のためにも、とてもいいと思いました。馬淵晴子さんの暖かさが作品全体を包んでくれて、優しい気持ちになれました。気負わず、ありのままを受け止めて、子どもたちを見守っていきたいです。
- ・ポジティブな親御さんでした。そこまで到達するのに、時間要りますね。
- ・理解をしてくれる周りの環境の大切さ、また、専門家の人とどう早くに関わってもらえるかが大切だなあと感じています。10年前とはだいぶ違いますが、まだまだ理解が充分だとは思えないところがあります。たくさんの方に見てもらえるといいなと思いました。
- ・自閉症のことをとてもわかりやすく表現していて、良かった。
- ・この映画を観たのは、神戸・高槻・今日と3回目です。でも、毎回新しい気付きや感動があります。会場の持つ雰囲気や、その時その時の我が子の様子や、自分（当事者の母）自身の精神状態にも寄るのでしょうか、映画の中にたくさんのメッセージや工夫が込められていて、いろんなアンテナでキャッチできるようになっているからなのでしょうね。同じ映画でも一期一会なんだなあとしみじみ感じました。
- ・明るい楽しさのある映画だと思いました。
- ・会員になってまだ間がなく、こういう映画は初めて見せて頂きました。何も知らなかったので、オーティズムのことが良く理解でき、嬉しく思います。家族にも見て貰えたら良かったと思います。
- ・わかりやすかった。たぶんどんな人でも見やすい。
- ・原作者・監督さんへ すごくよかったです。ありがとうございました。
- ・たくさんの方に見ていただきたいですね！
- ・明るく解釈すればいいなと思いました。
- ・当事者の親として共感する事が多くありました。こういう上映会をもっとして頂きたいと思います。
- ・特徴や対応の仕方をわかりやすく伝えられていたと思います。子育てに息が詰まりそうになった時の母の言葉も、胸にグッとくるものがありましたし、バーバの前向きな言葉にも力をもらえる気がしました。
- ・子どもたちの表情や、とらえ方、心の声、自閉症や法律の解説など、うまく取り入れていて、わかりやすく、いい映画だと思いました。
- ・テーブルのある席で映画を見たのは初めてでしたが、とてもみやすかったです。また、Q3のアンケートの記入方式、とてもわかりやすくてよかったです！！上映のご準備たいへんだったことと思います。お疲れさまでした。もっともっとたくさんの方に見ていただきたいですね。
- ・机や椅子がゆったりと配置されていたので、人の圧迫感がなく、楽に観ることができました。
- ・もっと多くの人に観ていただきたいと思いました。

- ・早期発見・早期療育はいいと思います。成人になってからの支援をお願いしたいと希望します。
- ・これからは成人の発達障がい映画を作ってほしいです。

#### <教育関係>

- ・楽しくて温かい気持ちになりました。ずっとおばあさんのような広い心で理解して受け入れて、ずっと専門家の先生のようなプロの姿勢を持ち続けたいです。
- ・2回目の鑑賞です。2回とも感動いたしました。今回は職場の友人と来させてもらいました。ありがとうございます。
- ・いろいろな方の協力のもとでこうした映画が製作され、いろいろなところで上映されることで、少しずつでも支援の輪がひろがっていくこと願います。療育や教育の出発がコミュニケーションであることについても考えさせて頂くことができ、学校関係者ともいっしょに鑑賞できたらと思いました。
- ・子どももそれをとりまく周囲の人も、とても自然に描かれていました。マリアをかおるの手でかばってあげるところがとてもよかったです。多くの人に見てもらいたい映画です。学校で、生徒たちに見せたい映画です。(中学校)
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・講演も、こうした上映会も、両方あれば、いろんな方へ啓発が浸透していくように思います。
- ・職場の研修会でこの映画を見ることが出来たらいいなあと思いました。DVDなど、手に入れることができたらうれしく思いました。
- ・他にもこんな上映会をおねがいします。

#### <福祉関係>

- ・オーティズムについて理解が進みました。

#### <その他>

- ・今後、発達障害について学んでいくうえで、とても参考になりました。また興味、意欲が増しました。

#### <OTを目指す学生>

- ・知ることが大事だと思い、この映画を見に来ました。とても良かったと思います。

# ささえる 私たちも

## ●募金箱

▽日本発達障害ネットワーク  
大阪・映画上映会 映画「星の国から孫ふたり〜『自閉症』児の贈りもの」上映会。3日午後1時15分、午後3時10分の2回。大阪市中央区の大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)。一般1千円、高校生以下500円。申し込み不要だが定員あり。問い合わせは上映会担当(090・8207・6037)へ。日本発達障害ネットワークの災害支援基金に協力する募金箱を置く。

## ●チャリティー

▽阪急百貨店吹奏楽団創立50周年記念演奏会 2日午後2時、兵庫県西宮市高松町の県立芸術文化センターKOBELCO大ホール。大人800円(当日1千円)、中学生以下400円(同500円)。全額を朝日新聞厚生文化事業団の東日本大震災救援募金に寄付する。大学祝典序曲、高度な技術への指標、ジブシー男爵マーチアルバムなどを演奏。問い合わせは阪急うめだ本店(06・6361・1381)。

▽四国フォーク村 花見大会ライブ 3日午前11時から日没まで、香川県丸亀市の亀山公園。1960~70年代のフォークソングを披露し、義援金を募る。雨天中止。四国フォーク村代表の高畑修さん(090・4970・2664)。

## ●各種支援

▽地球のステージ・被災地宮城からの声 2日午後4時開演、神戸市東灘区のコープこうべ生活文化センター2階ホール(JR住吉駅)。海外の紛争地や被災地で医療援助にあたり、宮城県名取市で緊急医療活動をすすめる医師・桑山紀彦さんが現地の状況を報告する。大人1200円、高校生以下500円。収益金は現地での支援費用にあてる。募金

箱も設置。日本ユニセフ協会兵庫県支部(078・435・1605)。

▽兵庫県宝塚市のNPOがアロマセラピー NPO法人「関西アロマセラピスト・フォーラム」が、兵庫県宝塚市栄町1の大門医院内で、被災地から避難してきた人に無料でアロマセラピーを体験してもらう。希望があれば、ボランティアスタッフを自宅へも派遣。問い合わせは同フォーラム(070・6564・4050)。

▽福井県がIT企業に県施設を提供 被災したIT企業に対し、福井県はオフィス機能の移転先として情報通信設備が整った県施設を半年間、無償で提供する。坂井市にあるビルの5室で広さは27~109平方メートル。賃料は9月末まで無料。東京電力管内の計画停電地域の企業の場合は、賃料(月5万9千~24万1千円)を半額に。

▽鳥取県が入学支度金給付 地震で保護者が死亡したり行方不明になったりした児童・生徒が対象。鳥取県内の学校に入学する場合、小中学校、特別支援学校(小学部・中学部)の児童・生徒には10万円。高校、特別支援学校(高等部)、高等専門学校、専修学校(高等課程)の生徒には20万円を支給。申請期間は来年3月末まで。県教委人権教育課育英英学室(0857・26・7516)。

## ●企業・団体

### 【義援金】

住友金属工業=2億円▽心斎橋アセス書店=1億円▽日本触媒=2千万円(追加分)▽ユークス=1千万円▽丸尾カルシウム=500万円▽堀場製作所(社内募金含む)=3千万円▽みなど銀行(同)=1700万円▽日伝(同)=1078万6706円

### 【支援物資】

堀場製作所=環境放射線測定モニター100台(1250万円相当)▽パナソニックグループ=懐中電灯4万個

## 情報 お寄せください

東日本大震災の被災者を支援する活動が西日本でも広がっています。募金活動や支援物資の受け付け、チャリティーイベントなど支援に関する情報をお寄せ下さい。連絡先を明記し、朝日新聞大阪本社生活文化グループ「支援通信」係まで。ファックス(06・6201・0179)かメール(seikatsunews@asahi.com)で。